



年少から年長までの園児41人をお招きして、はなまつりを行いました。保育所近くから永宗寺まで、大きな白象を引いて行進しました。

コロナ対策ということで、年長児の14人だけが本堂に上がって式典を行いました。でもみんなで甘茶を飲むことは出来ませんでした。園児の一人が3年前に飲んだことを覚えていてくれたのか、「甘茶を飲みたい」と言ってくれたのですが、残念です。

園児にお土産として、お菓子とはなまつりのしおりを配っています。今年はそれを見たお母さんたちが、こんな意味があったんだと関心をもっておられたと、翌日所長さんから聞きました。



宗祖親鸞聖人 御誕生 立教開宗 500th 800th 真宗大谷派 (東本願寺)

永宗寺だより 第35号

発行 真宗大谷派 黒崎山 永宗寺 住職 永崎 暁 富山市柳町 3-6-3 ☎ 076-432-0247

保育所では、コロナ感染対策として特に飲食に気を使っておられるのと、とで、「黙食」が定着していると聞きました。子どもたちは大人の言うことを素直に聞いて、誰とも話さず給食をいただくそうです。

小学生以上では、感染対策に気を使いながらも楽しく給食の時間を過ごしているそうです。大人の方はどうかという、やっぱりまだまだ世間の目が気になりますし、外での食事は控えている方が多いのではないのでしょうか。

さらには、マスクで顔の表情が隠れてしまっている生活が続いています。大人から子どもまで、そろそろこの我慢の生活にも嫌気が差してきている気がします。

笑顔で挨拶したり楽しく会話をして食事をしたり。大人には元に戻る日常として、小さな子どもたちには今までない新しい未来として、早くやってきてほしいです。

(坊守)

お内仏に手を合わせましょう



なことを大切に生活しているといわれるのでしょうか。

真宗門徒の生活とは？



先日、石川県大聖寺から講師が来られて僧侶向けの学習会があった時のこと、「最近は真宗門徒がめっきりいなくなってきた」といわれました。

いくら人口減少社会になったとはいえ、他と比べて門徒の数が激減しているわけではありません。講師のお話では、現代では真宗門徒と名のついても、門徒といえる生活をおくっている人が少なくなってきたという意味でした。

では真宗門徒とは、どのようなことを大切に生活しているといわれるのでしょうか。

ひとつには、人生を通して先生を持ち、自分が常々教えられお育てにあずかる身であることを、自覚することであるといわれました。それは教えの場に身をはこび、仏法を聴聞していく生活ということでしょう。そしてもうひとつ、正信偈・和讃・御文に日頃から触れていくことが大切だといわれました。親鸞聖人のお言葉に毎日接しながら、そのお言葉をとおして、自分の人生をふかく見つめて生きていく生活ということでしょう。

人間の都合に合わせて宗教があるのではありません。宗教によって人は教えられ、本当の人間となっていくのです。

編集後記

◆梅雨も早々に明けて連日猛暑が続いています。電気の使いすぎで停電してしまわないように、エアコンの温度を高くしたり、家電の待機電力を使わない、冷蔵庫も弱にしましょうと、テレビでも呼びかけています。

◆家庭で使われる電力消費量の円グラフを見てみると、使用する電気のうち約9%を占めるのはテレビです。節電するなら、まずテレビを消した方が良いでしょうが、テレビはテレビを消しましょうとは呼びかけません。

◆私たちは善行をしていますが、どこかで自分のマイナスにはならないように動いてしまいます。そういった自分勝手さを見つめ直すには、仏教の教えに人生を聞いていくことが大切なのだとおもいます。



おかみそりを 受けましよう



期日 10月7日(金) 午後

富山別院にて

冥加金 一万二千円

〆切り 9月9日

定員に限りがありますのでお早めにお申し込みください。住職と相談のうえ、法名に入れる漢字を選ぶことができます。

暁天講座のご案内

◇日時・講師

8月3日(水)

清水町 願海寺 村上巧弦氏

8月4日(木)

西岩瀬 浄光寺 斎藤弘顕氏

時間 午前6時より7時頃まで

会場 永宗寺本堂

◇夏の朝のすがすがしい時間帯に、法話を聴聞させていただきましょう。どなたでもご自由にお参り頂けます。暁天講座など例年通りに実施したいと思えます。新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクをご持参頂きますようお願いいたします。

※県内の感染者数の様子によって、急ぎよ中止となる場合がございます。

富山大空襲の記憶

昨今では、戦後という言葉も、日本とアメリカが戦争をしていたことも知らない、そういう若者も多いと報道されています。

そうであれば、毎年8月1日の神通川河川敷での花火大会が、富山大空襲での戦災死者を追悼するということが知らないかもしれません。

総曲輪にある東西の別院では、8月1日前後に非戦平和を願って資料展示を行っています。案内を同封しましたが、東別院では「富山大空襲の記憶」、「笹の墓標展示館全国巡回展」の展示を行います。

来場された方にお配りするために、今年の展示内容についての資料として「富山大空襲の記憶」を作成しました。担当が私でしたので、門徒のみなさんに読んでもらいたいと思い、多めに印刷をして同封させていただきました。

五十回忌総法要御案内

永宗寺では毎年、門徒物故者の総

五十回忌法要をお勤めしております。法要のご招待は直系の方にお送りしておりますが、分家筋などの方でもご縁ある方はどうぞお参り下さい。

日時 8月13日(土)

午前10時より

今年五十回忌を迎えられる方

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 新鋪久正 | 石川清次郎 | 石倉ツヤ |
| 岩本美江子 | 翁直松 | 音花忠信 |
| 開発ヨキ | 川島なか | 河原次郎吉 |
| 坂本健太郎 | 佐々木チャ | 竹島栄子 |
| 谷川利男 | 長治義雄 | 土井一雄 |
| 中村磯右工門 | 針田良二 | 平野桑次郎 |
| 宮下滋次郎 | 室谷安次郎 | 山崎栄吉 |
| 山崎ます | 山田喜三郎 | 山田久信 |
| 山本洵子 | 吉川兼敏 | 吉田勉 |
| 米本きい | (敬称略) | |

本の紹介



浄土真宗の宗祖・親鸞聖人のご生涯を、親しみやすいイラストを織り交ぜながらやさしくつづった伝記です。

各章ごとに聖人の教えの言葉を意識付きで紹介しているほか、巻末には略年表、聖人の足跡、著書、キーワードなどの付録も収載しており、親鸞聖人について楽しく学びながら、その教えにふれることができます。

青少年から大人まで、「親鸞聖人ってどんな人？」という方に贈る一冊です。お求めは東本願寺出版HPから <https://books.higashihonganji.or.jp/> イラストつきで読みやすい 「伝記 親鸞聖人」 東本願寺出版

永代祠堂経のご案内

◇日時・講師

9月19日(月・祝)

午後1時30分より

法話 千歳町 長龍寺 篠川弘一氏

お彼岸のお勤めに合わせて、永代祠堂経を勤修いたします。御招待者には8月中に御案内をお送りいたします。祠堂志とは、お寺が永代にわたって存続され、それによってますます仏法が広がることを願われ納められる志になります。

納められた祠堂志は、お寺では別会計としてお取り扱いし、仏具の調達や法衣の調製に使用しております。祠堂志を納めていただいたと、故人のお名前と遺族のお名前を祠堂帳に記載して、その御懇念を大切に取り置きいたしております。